

2月の家庭教育月間目標



ほんをよもう！



～子どもと一緒に、家族で本を読む時間をつくりませんか？～

家族で本に親しむ時間を作りませんか？就学前後の子どもは、絵本や物語を読んだり、語ったりしてもらうことが大好きです。「読み聞かせ」は、テレビや動画配信サービスなどの一方的な視聴とは異なり、目の前の人のぬくもりを感じられる特別なひとときです。子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにします。また、本を通じて想像の世界に思いをめぐらせ、登場人物の気持ちに触れることで他者を思いやり、命を尊ぶ心を育てていきます。

このような読書で培われる力を育てるためには、乳幼児の頃から、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作ることが大切です。寝る前に読み聞かせをしたり、家族で本に親しむ時間を作ったり、誕生日に本を送ったりしてみませんか。「手の届くところに本がある」、そんな環境を整えることも大切なのではないのでしょうか。

本への関心を高めるための取組



お話(ストーリーテリング)

語り手が昔話や創作された物語を絵本を使わずに語り聞かせることです。絵本の読み聞かせは絵が想像の助けとなりますが、お話は耳からの言葉だけでイメージを膨らませるので想像力が豊かになります。直接物語を聞くことで、語り手と聞き手が一体になって楽しむことができます。

ブックトーク

聞き手に本への興味が湧くように工夫を凝らしながら、複数の本をテーマに沿って紹介する取組です。その本の一冊のおすすめポイントを見せたり聞かせたりして紹介します。アレンジを加え簡単にすれば、就学前後の子どもも一緒に楽しむことができます。

味見読書

3～5分間と決められた時間で数冊の本を試し読みした後で、一番読みたくなった本を紹介し合う取組です。図書館などで子どもと味見読みをし、互いに借りた本について選んだ理由を話し合ってもいいですね。

本探しゲーム

「動物」などのお題を出して、そのテーマにあった本を探していく取組です。ゲーム感覚で楽しみながら、思いがけない本と出会うことができます。図書館などで行う場合は騒がしくならないように注意してくださいね。

